



飯舘村長

杉岡 誠

新春を寿ぎ、謹んでお慶び申し上げます。
昨年は、「暮らし」や「なりわい」への布石を着実に打つことができた年となりました。

例えば、村独自の「赤ちゃん誕生祝い金」や「子育て応援支援金」の新設、「ハシドラッグ」様との基本協定の締結、「セブンあんしんお届け便」の稼働、資源活用型たい肥製造施設の建設開始、産業廃棄物の再生利用に取り組む「中間処理施設」誘致にかかる立地協定の締結、「産業団地」構想の推進などです。またさらに、精肉店、飲食店、ジャズ喫茶もオープンするなど、新たな「ワクワク」や「にぎわい」が多く生まれた年でもありました。

村民の皆様へのふるさとへの想い、「ふるさと」の担い手たる溢れ出る活力、その「尽力」に深く感謝致します。

本年は「木質バイオマス発電所」の稼働が控えているほか、公設民営型の商業施設の整備、新たな企業誘致なども強化していく所存です。また「あぶくまもち」や「飯舘産牛」の海外へのPRなども実現したいと思えます。村民の今を支え、かつ、村の将来への布石となる取り組みを進めることで魅力あふれる「明日が待ち遠しくなるようなワクワクする楽しいふるさと」を築き上げて参ります。

結びに、皆様の健やかさとお幸せをお念じ申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



飯舘村議会議長

高橋 孝雄

新年を迎え年頭のご挨拶を申し上げます。

今年辰年で、飛躍の年と言われております。震災、原発事故により長い避難生活を強いられ、事故前の村の景色を懐かしく思う毎日です。

令和5年10月13日の臨時議会において、佐藤二郎前議長の跡を継いで議長に就任を致しました「高橋孝雄」です。議長という重責に、身の引き締まる思いであります。議員の皆様そして村民皆様のご協力を頂きまして、務めて参ります。よろしくお願ひ申し上げます。

震災、原発事故から12年10か月、村内のインフラ整備は震災前と比較しても、かなり

進行しておりますが、それでも課題は多くあります。その問題点の一つづつ解決する事で、復興が進みます。

村内の子ども達が元気に走り回る姿、両親が忙しく働く姿、祖父母が元気で野菜等を作り、隣り近所に配る姿など、震災前の飯舘村ではごく当たり前の事が、多くの村民皆様の望みでもあります。

村の第6次総合振興計画の中で、多くの村民の皆様アイデア等を基本とし、今後の村創りに反映させて頂きます。飯舘村復興に向けて一歩ずつ前に進んで参ります。

村民皆様の更なるご協力をお願い致しまして、新年のご挨拶と致します。

迎春

令和六年

